

総務文教常任委員会審査日程（オンライン）

開議日時：令和4年3月3日（木曜日）午前10時

場 所：議事堂大会議室（オンライン）

※議案質疑及び付託議案外質疑は、事前に文書で通告

1. 開議

2. 議案審査（総務部、政策推進部（文化芸術課を除く）、財政部等所管）

議案番号	件名	備考
議案第 3 号	取手市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	
議案第 4 号	取手市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第 5 号	取手市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	
議案第 6 号	取手市男女共同参画推進条例の一部を改正する条例について	
議案第 3 1 号	令和4年度取手地方公平委員会特別会計予算	

3. 付託議案外質疑（総務部、政策推進部（文化芸術課を除く）、財政部等所管）

4. 休憩（執行部入れ替え）

5. 議案審査（教育委員会、文化芸術課、消防本部所管）

議案番号	件名	備考
議案第 7 号	取手市立市民会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第 1 4 号	取手市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第 1 5 号	取手市消防団条例の一部を改正する条例について	

6. 付託議案外質疑（教育委員会、文化芸術課、消防本部所管）

7. 市長提出議案の討論・採決（採決は議案番号順に実施）

8. 休憩（執行部退席）

9. 閉会中の所管事務調査について（委員のみ）

10. 令和3年第2回市民との意見交換会におけるご意見・ご要望について（委員のみ）

11. その他（委員のみ）

12. 散会

※審査は議案番号順に行いますが、審査状況により変更となる場合があります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、通告のあった議案質疑・付託議案外質疑に係る原則

副参事職以上のみ、かつ、自己の所管業務に関する部分に限ってのみの出席をお願いします。

総務文教常任委員会
「付託議案」 質疑通告一覧表

令和4年第1回定例会

1. 総務部、政策推進部(文化芸術課を除く)、財政部等所管

議案第3号 取手市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

質疑 順位	質疑者	質疑事項	質疑要旨
1	関戸 勇 委 員	期末手当について	1 令和3年12月支給分の期末手当の減額の見送り分について令和4年6月支給分に含めて減額するの か 2 2年連続の減額となるが職員組合の意見は聞いているか

議案第4号 取手市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 順位	質疑者	質疑事項	質疑要旨
1	根岸裕美子 委 員	「育児休業をすることができない職員」について	1 条文から読み取りにくい。具体的にどのような場合が育児休業を取得できないのか 2 条例改正により要件は確かに緩和されるが、非常勤職員という不安定雇用の場合、結局育休を使いづらいことにあまり変わらないのではないのか

議案第6号 取手市男女共同参画推進条例の一部を改正する条例について

質疑 順位	質疑者	質疑事項	質疑要旨
1	関戸 勇 委 員	審議会について	1 条例改正について、多くの意見が交わされた事項は
2	結城 繁 委 員	文言について	1 今回の改正で、「すべて」を「全て」とした意味 2 男女共同参画社会という文言について 3 この改正の効果をどのように考えるのか
3	根岸裕美子 委 員	条例の名称について	1 そもそも条例名称が、今の社会情勢に合っていないのではないのか。ジェンダー平等推進条例等に変えるべきではないのか

2. 教育委員会、文化芸術課、消防本部所管

議案第7号 取手市立市民会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

質疑順位	質疑者	質疑事項	質疑要旨
1	関戸 勇 委 員	ロビーの範囲について	1 どのように区切るのか 2 大ホールの使用中でも貸し出すのか
2	結城 繁 委 員	市民会館のロビーのみ使用について	1 この改正でどのくらいの利用を見込んでいるのか 2 具体的な使い方
3	落合信太郎 委 員	利用料と利用範囲について	1 積算根拠

議案第14号 取手市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

質疑順位	質疑者	質疑事項	質疑要旨
1	関戸 勇 委 員	学校運営協議会について	1 公立の全ての学校に設置するのか 2 委員の構成はどのように考えるのか 3 委員は誰がどのように選ぶのか 4 協議会の人数は学校の規模で異なるのか 5 今後のスケジュールは
2	結城 繁 委 員	学校運営協議会委員について	1 この運営協議会設置に至る経緯 2 人数と報酬額の根拠、基準
3	根岸裕美子 委 員	学校運営協議会について	1 学校運営協議会の設置条例、規則、要項等が示されずに、報酬についての条例改正を先に議決するのは判断材料が不足している。順番が逆ではないか 2 学校評議員との関連性は、違いはなにか

議案第15号 取手市消防団条例の一部を改正する条例について

質疑順位	質疑者	質疑事項	質疑要旨
1	関戸 勇 委 員	報酬について	1 14条(報酬)について詳細に定めた理由は 2 今回の改正内容を広く周知することが肝要と考えるが検討されているか
2	落合信太郎 委 員	効果について	1 見通し

総務文教常任委員会
「議案外」 質疑通告一覧表

令和4年第1回定例会

1. 総務部、政策推進部(文化芸術課を除く)、財政部等所管

質疑 順位	質疑者	質疑事項	質疑要旨
1	関戸 勇 委 員	総務・防災について	<ol style="list-style-type: none"> 1 防災ラジオの機能について、家庭電源で使用している場合でも乾電池が消耗するのか 2 洪水による浸水地域の水位標示についてどのように検討しているか 3 避難所の備蓄品にスマホなどへ充電する機器は配備されているか
2	久保田真澄 委 員	シニアのためのスマホ教室について	<ol style="list-style-type: none"> 1 参加した方の意見(アンケート) 2 次回の開催予定は 3 今後の展望
		マイナンバーカードについて	<ol style="list-style-type: none"> 1 進捗状況 2 マイナポイントの付加手続き
3	結城 繁 委 員	職員の人事政策について	<ol style="list-style-type: none"> 1 ゼネラリストを目指す上での人事異動の意味 2 定期異動の年数の目安 3 人事政策として長期配置のメリットとデメリットをどう考えるのか
4	根岸裕美子 委 員	市政協力員による「藁」配布について	<ol style="list-style-type: none"> 1 自治会が組織されていない地域でも、回覧板は回っているとすれば、それを活用することにより、市政協力員の負担を軽減しながら、情報提供を進めることが可能ではないか

2. 教育委員会、文化芸術課、消防本部所管

質疑 順位	質疑者	質疑事項	質疑要旨
1	小堤 修 委 員	市内文化財の学校教育について	<ol style="list-style-type: none"> 1 文化財に関する市民向け広報 2 学校教育での取り組み 3 コロナ禍の屋外学習状況
		救急搬送困難事案について	<ol style="list-style-type: none"> 1 搬送先決定までに要する時間 2 コロナ陽性者の移送状況 3 現在の状況下での対策
2	関戸 勇 委 員	消防について	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年1月～2月末、保健所からの新型コロナウイルス患者の救急搬送依頼の件数 2 救急搬送の依頼先（医療機関）はどこが決めるのか 3 感染拡大でコロナではない救急搬送困難事案は起きているか
		教育について	<ol style="list-style-type: none"> 1 昨年、国から支給された抗原検査キットの数量 2 抗原検査キットはどのように使われたか 3 新型コロナウイルス感染により休校、又は学級閉鎖の際に、保護者の状況で登校する児童への給食を提供できない理由は
		教育について	<ol style="list-style-type: none"> 1 通学路整備「通学路交通安全プログラム」の実施状況
3	久保田真澄 委 員	中学校部活動指導員について	<ol style="list-style-type: none"> 1 指導員は、どのような人(退職者など)が行うのか 2 部活動の時間帯、土日の活用
		訪問型家庭教育支援事業について	<ol style="list-style-type: none"> 1 具体的にどのような支援をするのか
		消防庁舎の管理運営に要する経費について	<ol style="list-style-type: none"> 1 女性吏員の人数(各消防署) 2 女性吏員に対応した設備の整備
4	落合信太郎 委 員	学校施設管理について	<ol style="list-style-type: none"> 1 校庭等の除草作業

5	根岸裕美子 委員	救急搬送の状況について	1 コロナの影響で、必要な救急搬送に支障を来しているニュースを耳にする。取手市の状況は
		1/31～2/18の小学校の一斉休校について	1 一斉休校の決定はどこでなされたか。休校決定までのプロセス 2 教育委員への周知はどのように行ったか 3 本当に一斉休校が必要だったのか。一斉休校しなければならなかった理由は 4 児童、保護者、教職員への休校措置の影響をどう受け止めているか
6	須田光雄 委員	コロナ禍での学校運営について	1 登校の義務 2 各学校の資金、割り当て等の臨時対応は
		コロナ禍で学校休業時の児童、生徒への対応について	1 休業時の対応 2 休業時、登校状況 3 前回のアンケートによる改善点

令和4年3月3日

取手市議会議長
金澤克仁様

総務文教常任委員会
委員長 岩澤 信

閉会中の所管事務調査について

本委員会は、下記により所管事務について調査することにしたから、会議規則第105条第1項の規定により通知します。

記

1 事項

- (1) 総務部の所管に関する事項
- (2) 政策推進部の所管に関する事項
- (3) 財政部の所管に関する事項
- (4) 教育委員会の所管に関する事項
- (5) 消防本部の所管に関する事項
- (6) 所管の予算の執行状況について
- (7) 他の委員会の所管に属さない事項

2 目的

所管する事務の調査を行い、事務に関する理解を深め、市政の向上を図るため。

3 方法

事情の調査、資料の提供又は意見を求め、あるいは現地に出向いて資料収集の一環として事情を視察する等の方法による。

4 期間

令和5年第1回定例会まで

班編制	No.	意見のタ イミング 1部防災 2部アラー	キーワー ド、担当課	班議員	会場	種別	担当委 1議2総3 福4建	意見
第1グループ	1	1	防災	関川小池	大会	要望	2総	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢等で防災訓練に参加できない人へ、市としての支援を強化してほしい。 ・民生委員の担当地域割を明確にしてほしい。(基準はどのようになっているか?) ・防災に対して、市と自主防災会と地域市民のそれぞれの役割・練引きを示してほしい。 ・防災マップは常に見直しをし、毎年更新する必要がある。 ・防災マップを新しくした場合には、市は市民に説明会など聞いてほしい。 ・防災士の資格は職員も積極的に取得してほしい。 ・防災機構へ入る費用など負担している自治体があるので、市でも検討してほしい。 ・議員に配付されている防災の赤本は自主防災会会長にも配ってほしい。 ・赤本に書かれていない「放射能の問題」「防災士のこと」も盛り込んでほしい。
	2	2	防災	関川小池	大会	要望	2総	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所が非現実的な場所が多々あるため、改善を図ってほしい。 ・高校や公民館など、避難場所にしたらいいのと思う所があるが、なぜ出来ないのか。 ・ハザードマップの見直しと細やかな更新が必要。 ・避難所の整備は不可欠(電気やトイレなどはとても大事) ・情報発信は正確にこまめに行ってほしい。
	3	1	防災	齋藤岩澤	大会	要望	2総	<ul style="list-style-type: none"> ・地区によっては避難場所が遠く、車での避難は駐車場スペースに限界がある。 ・避難場所について、行政は検証をしてほしい。 ・避難行動要支援者の情報が乏しく、繋がりが薄くなってきている。 ・手助けする人も高齢化をしている。近所の人に助けてもらいたくない人がいる。 ・災害等の情報をより多く発信してほしい。(1年に一回ではなく)
	4	1	防災	佐藤結城石井	大会	要望	2総	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品の見直し(賞味期限が短いものなどがありもう少し期限が長いものに変更したどうか?) ・藤代高校——市と県で契約をしているが避難所としては体育館しか使えずトイレも小さい。行政と取手市議会としてももう少し連携をして改善してほしい。 ・水害時の避難所を車で移動した場合取手以外でも避難できるようにしてほしい。 ・小貝川は守谷つくばなど協定があるが利根川はないので何かしら考えて欲しい。 ・避難する際、バスでチャーターしてほしい。 ・学校の体育館を占拠すると問題が出てくるので? ・65歳以上の要介護者の避難支援。 ・備蓄品の種類や場所の明確化。 ・自主防災会に伝わっていない。防災紙が届いてない。
	5	1	防災	佐藤結城石井	大会	提案	2総	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会——行政との連携を強化したい。連絡網みたいなのが欲しい。 ・予算の使い方を考えて欲しい。 ・千葉県と茨城県の格差是正。
	6	2	防災	佐藤結城石井	大会	要望	2総	防災の補助金が取手市から出ている。(?)
	7	2	防災	佐藤結城石井	大会	要望	2総	自主防災の未整備地区の対応。
	8	1	防災	細谷小堤	OL	要望	2総	<ul style="list-style-type: none"> ・支援物資は、自主防災会ごとに備蓄するのではなく避難所ごとに置いて欲しい。 ・水災時、垂直避難を考えることが大事であり、自主防災会ごとに緊急的にどこに避難すればいいのか、市役所で地域ごとに優先順位を付け知らせて欲しい。(避難協力事業所、公民館、集会所等) ・青柳地区や吉田地区の内水氾濫について、未だ改善されていないため、原因について専門家を派遣して調査してほしい。
	9	2	防災	細谷小堤	OL	要望	2総	空き家が多いので、どうにかしてほしい。
	10	1	防災	山野井久保田	OL	要望	2総	<ol style="list-style-type: none"> ①災害を想定した訓練を実施してほしい ②防災訓練を多様性のある方にも実施 ③避難所での多様性のある方への対応をマニュアルに ④災害訓練で、シナリオ通りではなく、その時にどうする?という体験をしたい。 ⑤空き家を有効活用し、若い人が住んでもらえる
	11	1	防災	山野井久保田	OL	提案	2総	愛知県豊橋市にあるさくらピア(障害者施設)では、避難訓練の後に、1泊するという事を行う。視察できます
	12	1	防災	遠山鈴木	OL	要望	2総	<ol style="list-style-type: none"> 1. 避難所運営についてのマニュアルを公表してほしい。 2. 要支援者の避難について、自主防災会で把握できない方の避難を検討してほしい。

班編制	No.	意見のタ イミング 1部防災 2部フリー	キーワー ド、担当課	班議員	会場	種別	担当委 1議2総3 福4建	意見
第2グループ	13	1	防災	遠山 鈴木	OL	提案	2総	利根川、小貝川の堤防が決壊し水害が発生した場合、桜が丘地区は、旧小文間小に避難所指定されている。水害は、早めに対応できるので、市は、早めに避難指示を出してもらいたい。また、いち早く逃げる事が大事なので、避難場所をきめ細かく指定してもらいたい。
	14	2	防災	遠山 鈴木	OL	提案	2総	防災対策、やはり「水」と「電源」と思います。雑水は風呂の水活用。電源(熱源)は卓上コンロを活用することを提案。
	15	1	防災	加増 海東	OL	要望	2総	・災害が発生した際、地域内で自主的、ボランティア的に動いて頂ける方やリーダー的存在の方等をすい上げる、養成等をしていくには、どのような事をしていくと良いか、その方策等を教えて頂きたい。 ・コロナ禍の様な非常事態下では、災害に向けた訓練等の実施も難しくできていないのが現状であるが、このような時期にはどのような事等を行っておくべきか教えて頂きたい。
	16	1	防災	加増 海東	OL	提案	2総	夜間の災害発生を想定した夜間避難訓練、学校教育にも夜間宿泊を取入れた訓練等を実施するのはいかがか。
	17	1	防災	金澤 関戸	OL	要望	2総	・地元の自主防災会では地震を想定した訓練を毎年開催しているが、桜が丘は洪水の浸水地域にあり水害を想定した訓練が必要。取手市と自主防で水害時の避難訓練の実施を。 ・水害では旧小文間小が避難所だが高齢者は歩いていけない。避難をいつ開始するのかわかるようにしてほしい。高齢者は車で避難となる。 ・小文間地域の自主防災会と避難する地域の自主防災会との連携も必要ではないか。 ・災害情報を伝える防災ラジオが有効だが、普及が進んでいないように思える。 ・情報を伝える「広報とりで」が新聞未購読の人に渡らない。改善が必要。
	18	1	防災	金澤 関戸	OL	提案	2総	・洪水の浸水地域にある自主防災会(複数でも)と取手市で水害を想定した訓練の開催を。 ・防災ラジオの普及を促進するため申し込み(貸与)方法を更に検討する。 ・水害で避難する地域の自主防と避難先の自主防との連携を行えるよう検討。
	19	1	防災	赤羽 落合	執控	提案	2総	早く避難行動が出来るシステムの構築を(ハザードマップの5メートル以上の浸水地域の住民は人口の60%以上。グリスボや公民館など新たな避難施設の確保が進んでいるが、全ての避難者の受け入れは物理的に無理。大半が車で避難が予想され、2〜3万台の移動を想定。日頃からの早めの避難を広報し対策を)。
	20	1	防災	赤羽 落合	執控	要望	2総	防災対策への補助金を(スカイハイツ浸水想定、180人。緊急時、近隣住民の方々の避難受け入れを屋上に検討したが、フェンスなど改修工事に億単位の費用が必要。防災対策への補助金を)。 何故、藤代庁舎に避難出来ないのか?
	21	1	防災	赤羽 落合	執控	要望	2総	救護物資を各避難所に備蓄できないのか? (地域的に洪水被害ピンとこない。避難者を受け入れる側。戸別避難計画の作成を市から要請されるが、対象者の災害意識の低さや個人情報保護法の壁により進まない。成功事例あり。市政協力員と自主防災会会長を兼務の為、市から防災ラジオを2台貸与。市に1台で十分だと言っても対応してくれない。勿体無い。)
	22	1	防災	赤羽 落合	執控	要望	2総	地震に対しての住民意識が低い。インフラが止まってしまった時のシュミレーションを作成して欲しい。
	23	1	防災	赤羽 落合	執控	要望	2総	過去100年の災害の歴史。市が所蔵している資料の公開。その資料を基にした災害の予測を。
	24	1	防災	染谷 須田	OL	要望	2総	防犯灯が場所によって全くない かつらいの郷信号付近 (小文間)
	25	1	防災	染谷 須田	OL	提案	2総	有事の時の地域づくりの推進(ゆめみ野)
	26	1	防災	入江 根岸	OL	要望	2総	・発災し、避難所を開設する際、地域にその旨第1報の知らせが欲しい。 ・避難所開設にあたり、どうすればよいか皆目分からない。事前に指示が欲しい。今、発災して避難所開設されたとしても、何をしたらよいか、全く分からない。 ・避難経路の一部が非常に狭い。拡幅工事を既に要請している
27	1	防災	入江 根岸	OL	提案	2総	・避難所設置委員会等を設置し、設置・運営について検討する ・避難所開設・運営訓練をこまめに開催する ・住民の防災意識を高めるための方策は、何か良い方法はないか	

班編制	No.	意見の タ イ ミ ン グ 1部防災 2部フリー	キ ー ワ ー ド、担当課	班議員	会場	種別	担当委 1議2総3 福4建	意見
第3 グ ル ー プ	28	2	教育	細谷 小堤	OL	要望	2総	教育費にもっとお金を掛けて欲しい。
	29	1	教育	染谷 須田	OL	提案	2総	子どもに近隣の方への挨拶は最大の防犯と教えている。進めてはどうか？
	30	1	教育	染谷 須田	OL	提案	2総	学校での子どもの防犯教育
	31	1	教育 環境	染谷 須田	OL	提案	2総	オーガニックの給食(ナチュラルスクールランチアクション)など地産地消の有機野菜を作ると環境にも良いので推進しては？
	32	2	教育施設	細谷 小堤	OL	要望	2総	藤代スポーツセンターで水が流れていた所が、今流れていなくて子どもが水遊びできないので復活して欲しい。
	33	1	教育防災	染谷 須田	OL	要望	2総	学校の防災の教え方の改善(防災ずきんなど)
	34	2	公民館	遠山 鈴木	OL	要望	2総	公民館、月曜日を休みにする必要があるのか。
	35	1	図書館	遠山 鈴木	OL	提案	2総	利根川が氾濫し浸水した場合、図書館の書籍の保全対策を
	36	1	防災 教育施設	赤羽 落合	執控	要望	2総	ハザードマップの浸水想定ラインを、学校施設の壁画や体育館などに記載をし、学校で子どもたちに水害の危険性を指導してもらいたい。
	37	2	防災 道路管理	金澤 関戸	OL	要望	2総	取手西小の通学路(校庭に面した)南側の樹木に覆われた斜面林は崩れないか点検を。
38	2	政策	山野井 久保田	OL	要望	2総	市内から市内の学校に通う学生の定期代の補助	

班編制	No.	意見のタ イミング 1部防災 2部フリー	キーワー ド、担当課	班議員	会場	種別	担当委 1議2総3 福4建	意見
第4グループ	39	2	自治会	齋藤 岩澤	大会	要望	2総	・自治会がなく、自主防災会のみが地域コミュニティーとなっているため不便である。 ・自治会を脱会する人が増えている。高齢化で役員ができない。若い人は関心がなくはならない。どの地区も共通している。
	40	2	市民協働	山野井 久保田	OL	要望	2総	地元住民と、新住民のつながりがもてるような取り組み(ゆめみ野在住)
	41	2	その他	佐藤 結城 石井	大会	要望	2総	戸頭団地の上を飛んでいる飛行機を何とかして欲しい。
	42	2	不明	赤羽 落合	執控	要望	2総	ホームページの更新を早く。 (シルバーいきいき体操の指導員として目指せ100歳を合言葉に活動。過去に独居高齢者におせち料理を年末届けていたが、ふるさと応援寄附金事業の状況は?)
	43	2	テレワーク 補助(政策 推進)	細谷 小堤	OL	要望	2総	家庭で同時に2人はテレワーク出来ないで、テレワークができるようなスペースを貸し出して欲しい。(ホテルでテレワークする補助を使っても料金が高くなる)
	44	2	不明	佐藤 結城 石井	大会	要望	2総	船が欲しい。(?)
	45	2	不明	佐藤 結城 石井	大会	提案	2総	発信連携の部分は行政とのやり方などは希薄だから強化して欲しい。
	46	2	空き家	染谷 須田	OL	要望	2総	空き家が多くほどよく絶妙とは言えない。問題に対して取り組んでいてもらいたい
	47	1	防犯 公園	入江 根岸	OL	要望	2総	防犯対策、特に子供たちの安全のために、公園等に防犯カメラを設置して欲しい。
	48	2	魅力発信	佐藤 結城 石井	大会	要望	2総	取手市の魅力をもっと発信して欲しい。温泉や食事などができる場所を作ってほしい。
	49	2	魅力発信	金澤 関戸	OL	要望	2総	取手の魅力を発信してほしい。買い物など人が集まる場所を。
	50	2	魅力発信	入江 根岸	OL	要望	2総	ブランドイメージ「ほどよく絶妙とりで」は、変えてほしい。特長なく、アピール力弱い。
	51	2	魅力発信	入江 根岸	OL	提案	2総	「アートのまち」をもっと市の魅力として活用する
	52	2	広報	齋藤 岩澤	大会	要望	2総	「薬」「社協だより」の意味があるのか?配るのが大変。見直してほしい。
53	2		山野井 久保田	OL	要望	2総	情報の公平(?)	

茨城県知事 大井川和彦 殿

茨城県教育長 小泉元伸 殿

コロナ禍の小中学校教育に関する要請

茨城県教育委員会におきましては、子どもたちのために尽力していただき、感謝申し上げます。

令和2年1月に発生した新型コロナウイルス感染拡大は、1年半以上経過した現在も、多大に社会に影響を及ぼし続け、とりわけ子どもたちを始め、社会的弱者にそのしわ寄せがきています。

茨城県教育委員会は、8月27日、9月9日に各市町村の教育委員会に正式な依頼文を出しています。その依頼文には、原則、児童生徒の登校はなし、リモート授業の実施要請が書かれていました。

そのため、令和3年9月17日現在、県内小中学校において、オンライン授業または自宅でのプリント学習中心となっています。

学校は、単なる学びの場ではありません。子どもたちの育ちのために欠かすことのできない、様々な体験の場であり、人間関係を構築・実践する場であり、居場所であり、シェルターであったりもします。長期にわたり学校を閉じることは、子どもたちの育ちに多大な弊害をもたらすと考えます。

特にオンライン授業は、家庭の収入や生活環境によって格差が生じることが避けられません。学校の対応も、地域によってもまちまちです。

家庭においても、テレワークなどにより、家族が長時間一緒にいることでストレスが増大し、虐待やDVの温床になることもあります。保護者が仕事で、子どもが日中一人である時間が長くなることや、落ち着いて学習できる環境が整った家庭ばかりではないことも想定されます。

また、臨時休校に伴う給食の供給停止は、給食で命をつないでいる子どもたちにとって深刻な事態です。自治体によっては、給食に変わる食を必要なお子さんに提供しているところもありますが、多くは対応できていないのが現状です。

先生方には、オンライン授業に精力的に取り組んでいただいています。しかし、子ども・保護者・教師の3方において、長期間のリモート対応は負担が重すぎます。子どものその時は二度と取り戻すことができません。子どもの命と子どもの育ちを大事に、学校の登校を臨機応変に考えて頂ければと思います。基本は登校とし、各家庭でオンライン授業やプリント学習を選択できることが重要と考えます。

感染状況をしっかり分析していただき、県下一斉休校措置とするのではなく、各自治体、各学校の規模や事情に合わせて、もっと柔軟な対応をはかれるようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止と、子どもたちの育ちのバランスを、今一度ご検討いただき、子どもたちができる限り制限のない生活を送れるような配慮を、強く要請いたします。

以上

令和3年9月17日


保護者有志 代表 松見 佐知子

大井川県知事へメッセージを送ろう

☆オンライン授業や学校教育に関連する困りごとや、大井川知事に伝えたいことを自由にお書きください

お名前	ご住所

いただいた署名は茨城県に提出する以外の目的では使用しません。

送付先

郵送	〒300-1516 茨城県取手市藤代南 1-7-9 とりで生活者ネットワーク 根岸宛
FAX	0297-75-4131 ※電話番号も同様
メール	torinet1015@yahoo.co.jp

- ・オンラインは、「わけわからない」と子どもが言っている。
 - ・回線が途中で切れたりすることもあり、最初はかなり苦労した。
 - ・一番問題なのは、オンラインだと分からなくても、その時先生に聞いたり、できなくても分からなくても、分からないままになってしまうこと。
 - ・とにかくリモートなんて嫌だと、言っている
 - ・学校、児童生徒、親、職場、色々条件がそろってもオンラインOKかといったら、それは違うと思う。子供たちは、学校に行って他の友達や大人と関わって、色々なことを学ぶ。友達と関われないのは辛い。
- (取手市 小6 保護者)
-

ずっと休校で、引きこもり状態だったので、久々の登校がものすごくめんどくさいと言って、嫌だったらしく、不安なのか、緊張なのか、プレッシャーかかっているようで、一昨日も、今日も、朝、えづいて顔面蒼白になりながら学校へ行った。(取手市 中3 保護者)

小学1年生と四年生の母ですが、低学年にはオンライン授業はかなり厳しいものがあります。よほどしっかりしているお子様なら大丈夫なのかもしれませんが、毎回親がずっと傍についている状態です。それができない親のお子様はやはり落ち着きがなくふざけたり、聞いてないような上の空な感じが見受けられました。また親御さんの仕事の都合などで登校しているお子様がふざけたりすると、先生の話していることも遮られたり聞こえなかったりそうすると授業に集中することも難しいです。

低学年の場合、オンラインかプリント学習かどちらか選択制にするなどその子にあったやり方で勉強出来れば、とと思いました。せめて低学年は1日おき、2日おきでも分散登校などができたらと思いました。

今回オンラインで工作系などの課題も多かったのですが、やはりそれもほとんど親が手伝う形になるかと思います。学校でなら子供もなんとか自分で工夫して取り組めるであろうことも、やはり自宅でだと親に頼りがちです。

どちらにしても低学年や高学年でも支援が必要なお子様は親の負担がすごかったです。

低学年の場合下に小さい兄弟がいるご家庭も多いので尚更かと思います。

また今回、茨城県だけ休校延長で他県は普通に登校しているのをみて、学力格差など起きないのか不安になりました。

結局4年の子供には塾を追加で受講するなど対策をしました。それでもまだ他県より学力が落ちる、遅れるんじゃないかと思います。

オンライン授業期間、ほとんど午前中3時間だけでそれが終われば午後は自習でした。でもうちの子も含め、周りのお子さんでも午後もしっかり勉強している子なんていません。

オンラインにするなら、学校にいる時と同様に午後もしっかり取り組めるような課題を組まないといけないと思います。ただでさえ、家にいると集中もできないし、遊びの誘惑も多いです。それを阻止してなんとかやる気にさせる親のストレスは相当なものでした。

全国一斉で休校措置でオンラインならまだしも茨城県だけとなると不安になりました。

(取手市 小1小4 保護者)

慣れないパソコンでの操作や自宅学習による緊張感のない中で、先生の指示についていけないことが多くどうしても親のサポートが必要。特に低学年に関してはサポート無しでは成り立たないことが多く本来共働き世帯に対する精神的、経済的ストレスがおおきい。

前提として自宅学習ありきの中で選択式登校を採用しているが自身も嘆願書同様、登校前提の中で選択式に

自宅学習のほうがいいのではないかと感じます。学校で大勢で遊ぶ、友人と語り合う、他人と協力し合うといった多様な人間関係の中で、社会性や対人関係能力を身に付ける機会が減っており、本来学校教育の役割の一つであるで社会性の成長が育まれにくくなっているとかんじる。(取手市 小1 保護者)

今回の休校措置が本当に必要だったのか疑問でなりません。全国一斉休校なら納得できますが、他県の小学校は普通にやっているのに何故茨城県は休校にしたのでしょうか？子供達の安全だとか、色々理由はあるにせよ、本当に子供達の為にというならば、どうすれば安全に学校で学べるかを工夫したり考える事に尽力して欲しかったです。大人がほぼ普通に社会生活を送っているのに、子供にだけ縛りを課すのはおかしい話だと思います。

オンライン授業については、我が子の学校では一日に1コマか2コマありましたが、小学生には向かないなと思いました。どこにいても集中出来る子、親が見てようと見てなかりうと出来る子には問題ないと思います。でもそんな子、どの位いるのかと疑問です。

いばスタで学習する時間が多々ありましたが、こちらも小学生が一人で学ぶツールとしてどうなのか…内容は教科書に沿っていて、わかりやすかったです。親が付き添ってみていけばいいかと思います。しかし、一人で動画を見ながら勉強となると、これも個人差が大きいのではないかと思います。

オンライン授業にしてもいばスタにしても、子供個人の能力差、親が干渉出来るか出来ないかで、大分学力に差が出るかと思っています。更に9月から学校で勉強している子供達と、休校生活を一ヶ月も送っている子供達とどれだけ学力に差が出る事かと考えると、不安しかありません。全ての子供達に平等に学ぶ権利を…と考えるならば、学習する場を家庭に丸投げしてはダメだと思います。

今後また同じような危機的状況に陥った時、休校という手段を考えるのは本当にもう手立てがない場合だけに限って頂きたいです。子供にとっても親にとっても、もう限界です。

教育の素人に出来る事には限界があります。こんな事が続けば親子関係が崩壊しかねないと思います。

(取手市 小1小4 保護者)

・パソコンを起動したり、パスワードを入れたり、クラスの部屋に入室することは出来るが、画面を切り替えたり、変なボタンを押して先生に怒られたり、1年生が全く1人では難しい。

・親が仕事の家庭は学校に児童が来ているので、先生が教室にいる子とリモートとを同時進行しなければいけなく、先生の負担が大きく感じる。

・特に特別支援学級に通っている子供にとってはかなりの負担である。リモート授業も普通級と一緒に受けているので、取り残されている感じがある。わからない所もわからないと言いにくく、どんどん授業が進められてしまう。

・やはり「家」なので、集中しにくく、すぐに気が散ってしまう。休憩時間になるとすぐにゲームをやってしまう。

・高学年はきちんとやっているが、3時間ずっと画面を見ていると目が疲れてします。うちの学校は3時間、ずっとリモート授業です。同じ市内の学校でも全然やり方が違います。授業の始まりの最初の10分間だけ繋ぐ学校もあるが、3時間ずっとぶつつつでリモート授業の学校もあり、差がありすぎます。

・オンライン授業後、午後の過ごし方は学校によって様々である。(取手市 小1小6 保護者)

小学1年生、男子です。

オンライン、自宅学習はまず自分で進んで行く様子はあまりなく親が時間を伝え始めさせています。

オンラインは今のところ楽しんで取り組んではいますが、飽きがあると先生の話の聞かなかったりパソコン

前から動いてしまうこともあります。

授業計画表は読めますが、それを全て子供一人で実行することができていないので午前中はほぼ親が近くにいて学習を手助けしています。

家だと甘えが出て時間通りに動かないことも多く親が怒ってばかりの毎日です。

オンラインですが、画面にちゃんと映る位置に座れなかったり他の子が色々パソコンを弄ってしまったり授業の妨げになっている場面もありました。

画像の背景を変えている子に気がいって授業に集中できていない場合もあります。

オンラインは状況に応じて必要だとは思いますが、感染者がもっと多いのにオンラインではなく通常通り登校している地域もあると知り不満に思っていました。

学校生活はとても大切だと思うので1日も早く通常通りに戻ってほしいです。(取手市 小1 保護者)

学業・給食の件は、家庭により 様々な考え方や格差があります。

理科の実験、美術や体育、また、教室内授業のみではなく、校外学習での学び(小6、中3 なのでまさに修学旅行)など、多岐にわたり 参加して初めて身につく体験も多く、自宅からのリモート学習が長引くほど、その体験の機会も減るばかり。(調理実習などは諦めますが。)

しかしながら、集団生活が不安なご家庭があるのもまた事実。ワクチン接種が済んでいない年齢のお子さんを持つ保護者の方々に、小さな子を登校させたくない方もいらっしゃるでしょうから、基本は登校、希望者はリモートという選択があるのは 救いだと思います。(取手市 小6中3 保護者)

うちは中学生ですが、携帯を持っている子はオンライン中 LINE のやりとりや動画を見ながら受けている子はいると言っていました。(うちの子もですが…)午後は自習でしたがキッチンとやっている日はありませんでした。学力体力共に低下傾向。やるならもっと考える力、まとめる力がつくように工夫して欲しいです。

(取手市 中1 保護者)

・タブレット学習の問題は選択問題が多くてゲーム感覚で答えの位置を把握している。間違えてもどうして間違えたのか理解しようとせず、解説も開くだけで読んでいない。

・学校に課題のプリントを取りに来て下さい、と言われたが仕事で対応しにくい。

・義母に預けていますが兄妹二人は負担が多く毎日は見れないと言われ市外の母のところに連れて行くのも大変で困っている。

・暇さえあればゲームやYouTube。運動不足だけど休みの日に数時間公園に行くくらいしか出来ない。

携帯を持っている子達はオンライン中に LINE のやり取りをしたり、動画を見ながら受けていたりしていた。

オンライン授業中にノートに書いてと言われたのに全く記入していなかった。自習時間に何もやっていなかった。オンライン授業でも考える力やまとめる力がつくようにもっと工夫をして欲しかった。学力も体力も低下。(取手市 中1 保護者)

・オンライン授業が嫌だと、何度も家を飛び出し大変でした。イライラしたのは主に子どもです。自律神経に害を実感

・オンラインの生活は、今後の未来に必要な事になるのは理解しています。しかし、小学生(特に低学年や発達症(発達障害)を持つ子や親は、本当に辛いのも事実。せめて小学生、子どもたちに伸び伸び育て欲しい。大人が守らなくてはいけないのは、未来を創る子どもたちです。どうか私たち親と一緒に、子どもを

守ってください。(取手市 保護者)

・新しい時代に合った”オンライン“による遠隔教育の実施は、場合によっては必要と感じています。例えば、学校に行けないいわゆる”不登校“の子どもたちが”オンライン“でなら授業に出席したいと選択する際や、災害時などの非常時です。

・今回のほぼ 1 カ月にわたる突然のオンライン化。子どもも親も教員らも何の準備もなく、ただ無理矢理、何の納得のいく必要性の説明もなく、押し付けられた”圧政”には激しく違和感を感じました。なぜ子どもたち、私たちをこれほどに苦しめるのですか？きちんと説明してください！！(取手市 保護者)

つまらなかったです(取手市 お子さん)

うちは共働きなので、大人は対応出来ず、こども達任せでした。中学生と 6 年生は何とか対応していました。ただ、小学 2 年生は無理があるかなと思います。

・ドリルなど、指定されたページの事は何とか出来ますが、途中で飽きてしまったところは、途中のまま放置されていました

・国語や道徳など、指定された番組やいばスタを見て考えてノートに書こう…みたいな課題は、課題の意図が分かっていないので、ちぐはぐな事を書いているか、分からないからやってない状態になっていました

・いばスタなどの動画も見てはいますが、集中力が続きません。理解しながら見ているのか…分からないです

・体力の低下が心配です…上の子達は何かと自分で外に出てトレーニングしていましたが、下の子は誰かが連れ出してあげないと、外に出て体を動かす機会がありません。1 日、1 歩も外に出ていない日がありました

・接続のトラブルも対応出来ず…次の日にたまたま平日に休みだったため、大人が対応しました

・お昼ごはんの負担も大きく、レトルトなどに頼ってしまいます。家では食べない物も、給食では食べてくれるので、バランスの取れた給食を食べさせたいです。(取手市 保護者)

5 年生の息子の様子・・・PC の接続や操作はほとんど自分でできました。授業は一見理解しているように見えたが、全くわかっていなかった部分も多々あったよう。でも、その場で質問も出来ず、何となくでやっていました。オンライン授業以外の時間はほとんど遊んでしまっていて、土日にまとめて、日曜の夜にためてた物をやるという感じでした。

学校は勉強だけやりに行く場所ではなく、子供同士で遊んだりけんかしたり、先生と話したりおこられたり、係の仕事をしたり、コミュニケーションを学ぶ大切な場所であり、その年齢にしかできないことがたくさんあります。子どもたちに 3 密何度の感染対策をすることにはデメリットが多いと感じます。

これから冬に向かい、少しの風邪症状でも欠席させなければいけなかったり、一人だけでも陽性者が出たら休校などにするのは、控えてほしいです。こどもたちに PCR 検査や抗体検査等をするのもやめてほしいです。(取手市 小 5 保護者)

しばらくオンライン授業を体験して、あらためて学校の重要性を知りました。先生そして生徒の集団生活というのは、今しか経験できない貴重な事だと。今後の人格形成・運動能力の向上、様々な要因を造っていくうえで大切な事です。ですから、学校へ登校しコロナなど感染してしまった時の医療体制の充実をお願いします。

コロナワクチンの子どもへの接種は絶対に嫌です。大切な子供を実験台にしないでください。重症化する高齢者はよいと思いますが、免疫が高い若者へは絶対反対です。その代わり、早期治療の充実を何卒よろしく願います。(取手市)

長期にわたるオンライン授業が始まり、低学年であればあるほど難しいと感じました。集中力の問題や隣に大人がいないと進まない現状。大人も我が家は共働きの為、仕事とリモート授業にはさまれ、負担やストレスが日々増していきました。オンライン授業が終わってからもプリント学習・ドリルなどありましたが、結果、学校ではなく家の為、なんだかんだと理由をのべ後回しになり、週末にまとめてこなすなど学力の低下をものすごく心配しています。

学校での学び、教育はとても大切だと考えます。家での学習は、やる子とやらない子に分かれてしまい、また大人が見なければいけない環境も出てきます。みんながみんなやる子とは限らない為、学校での教育をとてもお願いしたいと思いました。

タブレットの画質が悪いのか、何が書いてあるのか分からないことがありました。先生によって字が小さかったり、オンライン授業の得意・不得意があつて分かりづらさがありました。

不登校の子が授業を受けられたのはとても良かったと思うので希望する生徒には、オンライン授業を続けてほしい。

家で一人になってしまう子は学校で把握して、先生が訪問するとか、ご近所で声かけするとか、給食に替わる食事を提供するとか対策がされると良いと思います。(取手市 保護者)

今回の一斉休校中、子どもたちの栄養事情はどうだったのか非常に気になります。

親が日中いなく、家に子どもだけだったり、なかなか食費に十分に家計をさけない家の子どもは何を食べていたのか？より詳細な調査データを収集し、分析してほしいです。

休校が、子どもたちの健康を守るためというのであれば、それに伴う、子どもたちの食の保障と心の健康も切り離さずに対策をうってほしいです。(取手市 保護者)

中2、小4の男児の保護者です。

・オンライン授業の際、どうしても先生から生徒への一方的なコミュニケーションに偏ってしまうように感じました。子どもたちのその時の心理状態や理解度は、もう1歩何らかの工夫がないとくみ取りにくく、学校の先生方としても、大変ご苦労される部分ではないか？と思います。

・学校、子ども、保護者にとって、この度の一斉休校オンライン授業の実施は大きな経験値となると考えられます。今後のアンケート調査やその分析をしっかりと行うことで、この先起こり得る様々な教育に関する困難なシーンに応用していけるのでは…と期待します。

例えば、病気やケガあるいは不登校の子へのオンライン授業での対応、災害が起きた際の教育委環境の確保、オンラインを使用した双方向的学習のますますの充実レベルアップ等(取手市 中2小4 保護者)

小2男児の祖母です。

子どもの母親もリモートワークになったため、親子共々、家での仕事・勉強となりました。共に在宅となった為か、子どもたちは普段よりいっそう親に甘えたく、普段と様子が全然ちがいました。ひっきりなしに、親を呼ぶため、母親は仕事にならず、非常に苦労しておりました。(取手市)

4年生2年生女兒の保護者です。

- ・小学校低学年の子は“パソコンの前で集中する”という事から難しい様子で先生の「寝てる子誰かな、起きようね〜」という声がパソコンから聞こえたときは笑ってしまいました（驚きのあまり）
 - ・親としては、低学年の子どものほうにつきっきりになってしまい、上の子の学習を見てあげることが出来ず、少し後悔しております。
 - ・家でリモートで仕事をしている親と子が、1つの地域で同時にWi-Fiを使用する為か、うまく繋がらないトラブルをよく聞きました。（取手市 小4小2 保護者）
-

4年生双子男児の保護者です。

- ・双子のうち片方のオンラインが途中で切れたりそのままつながらないことが多く、しっかり学習したい子ほど焦るし、泣くし、やる気もなくなるので悲しく感じた。⇒トラブルは、スカイメニュー上で多かったです。
 - ・何か困った時の対応策として（例えば親の形態に提出用のPDF等を別に送ってもらう等）あらかじめ何通りかのやり方を用意していただけるとありがたいです。
 - ・今後、親が感染もしくはワクチン注射等で体調を崩した場合の子どもの世話はどうしたらよいのだろう…と不安です。本当に困った場合の相談先を自治体としてもしっかりお知らせして欲しいです。（取手市 小4 保護者）
-

6年生男児の保護者です。

- “原則家でのリモート授業を…”とのことでしたので、様々な工夫を試みましたが、とても苦勞しました。
- ・職場に子どもを連れて行き、空きスペースを使用してもらいましたが、Wi-Fi環境があまりよくなくてスムーズにリモート授業を受けられませんでした。
 - ・実家の母に家にいてもらい学習を見てもらったりしましたが、お互いにとても気疲れしてしまいました。
 - ・結果的に子どももストレスをためて“オンラインが辛い…”と泣くことがあったため、後半は学校に通学させてもらいました。（取手市 小6 保護者）
-

我が家では祖父母の協力の元、学校、子どもクラブは利用せず自宅で学習させることができました。

困ったこととしては

- ・祖父母にはかなりの負担をかけてしまったこと
 - ・子どもだけで家で過ごす時もあったこと
 - ・課題やオンライン授業で不明点があっても、すぐに側で教えてあげられなかったこと
- です。

実際、登校を考えた時期もありましたがコロナ感染のリスクを考えると極力行かせたくない思いがありました。我が家の場合は、学校側の対応というよりは、そういった子どもを抱えた場合の社会的な休暇の取りやすさなどに強く要望を持ちました。（取手市 保護者）

小学2年4年の孫を預かりました。つながるまでアタフタいじって、まともに授業が受けられなかったと思います。2人ともぼんやり画面を見ているようで、こんな学習のし方でいいのか疑問に思います。

神奈川、東京の人にきくと全く通常通りとか…びっくりしました。子供たちに生き生きと楽しい毎日を送ってほしいです。注意をして、学校を閉めないでください。

※先生の負担も増えているようですが、地域の人に補助員として入ってもらったらどうでしょう？（取手市）

・学校から配布された端末で自由に YouTube が見れるため、端末を見る時間がものすごく増えた。学校からの指導がどうなっているのかわからないが、親が管理するのも難しく、視力の低下も心配。端末の扱いで親子けんかになることが増えた。

・登校している児童もいるので、不公平感を感じてしまう。親としてはなるべく学校に行って欲しい。

(取手市 小4 保護者)

娘はおばあちゃんに観てもらいました。職場からも絶対に感染しないようにと厳しく言われており。学校や児童クラブには預けることが出来ませんでした。

娘の精神状態はかなり、ボロボロで。少しでも、なんか嫌だなんて思うことで。涙がでている状態です。オンラインといっても、常に一人で毎日過ごしている状況でした。

学力よりも精神状態が不安定になって困っています。(取手市 保護者)

オンライン授業はとてもやりづらいようです。音が途切れたりしてしまって、重要ところで音が途切れたりするとまったく理解出来なくなってしまっています。また、課題の You Tube が見られないや、オンライン授業に使うプリントが間に合ってなかったりなどで、学校や友達に聞いたりで、それだけで時間を取られてしまっていました。学校も中々準備が間に合ってなかったのではと思います。集中は全くできていません。あまり頭に入ってないのではないかと思います。

やっぱり家にずっといるとだれてしまっています。やる気もないし、ちょっとしたことで機嫌が悪くなったりなど、、大人もそうですが家にずっといると子供もストレスがたまります。

休校ではなく、分散でも少しの時間だけでもいいので、外に出る機会、学校に行く機会を子供たちにあげてほしいです。モチベーションもあがるし、孤独感も少なくなるのではないかと思います。

日中毎日1人でいる子供たちが沢山いると思うと、学校に行った方がいいのではと思ってしまいます。子供たちの気持ちをもっと考えてほしいなと思っています！(取手市 保護者)

本人は理解しているつもりだったが、後から親がチェックすると理解できていないところがある(取手市)

取手市は毎日オンライン授業でしたが、親が仕事のため毎日学校へ通っていました。

1日だけ、母親が休みが取れたので家からオンライン授業を受けたところ、モニターの中からの先生が言っている意味を理解できない様子でした。

「明日は学校へ行きたい」これが4年生の男の子の言葉です。(取手市)

オンラインで気になったこと 千葉県の方がコロナ感染数が多いのにリモートになりました。リモート授業は

悪くいえば、画面にうつっていればOKな感じがしたので、学力の低下が気になりました。ただ感染は気になるので、今回の体験をもとに環境が良くなればいいなと思いました。自分の子供たちは中学生なのでまだ仕事に行けましたが、小学生の親は厳しいと思います。休むと収入も減るので大変です。給食のあり無も急に変更されたりもしたので、家庭での対応、非常に負担でした。

リモートで逆に良かったと感じられることは…」画面にうつされることで、その子の家庭環境が少し見られたことだと思います。(取手市 保護者)

リモートになり、前回の長いお休みよりは勉強面で安心課と思ったのですが。

中学校のほうは、ビデオオフでもいいのかな？オフにしてやっているのに、ちゃんとやらなくても気づかれない。午前中は授業ですが、午後は自習で、家だと色々気になりしっかりできなくて困ります。

小学校のほうは、午前中2時間授業2時間自習午後自習。オンラインでは、プリントがどれか分からなかったりと困っていてもどんどん進んでしまうし、私が見ていないとちゃんとついていかれません。質問もしづらいようです。私が仕事の時は大変です。もっと小さい子はもっと大変ですね。

もう少し、一方通行ではなく、やり取りできたらいいと思いました。(取手市 保護者)

オンライン授業は仕方のないことだが、その環境をもっと整えてほしい。

・オンライン、分散、通常等の連絡はなるべくはやめにいただけるとありがたい。(取手市 保護者)

低学年や支援クラスでのオンライン授業はかなり大変です。タブレットの使い方も注意が必要で故障やトラブルもあるため、つきっきりだったりします。

支援クラスでは、例えば1年生と2年生が同じ教室で行っている場合、教室にいる生徒、家庭でオンラインの生徒と1人の先生が、4クラス見なくてはならない為、補助員が1人入っても足りません。結局、分からないまま終わってしまうことがほとんどです。どうにかならないかと思う日々です。(取手市)

・低学年(現在小学1年生女兒)の家庭学習は親の付き添いなしでは不可能でした。(ストレスからか、分からない・できない・うまくいかないといつも不満や不安を口にし、家庭学習の時間中、一日に何度も涙を流しているため、一人にできない)その間、下の子(現在2歳男児)は長時間ほったらかしになり、外に出ることも出来ず、テレビばかり(遊んでいるとうるさくなり、上の子がイライラ)2人ともストレスからか、ケンカ、泣くことも多くなり、親も小言が増え、お互いの関係性もよくなかった。

・オンラインの回線が途切れ、??の時間が多い

※オンラインに反対しているという事ではなく、また多少の我慢も必要と考えています。休校期間中の家庭の中の状況としてお伝えさせていただきます。(取手市 保護者)

・画面の向こうに生徒がいる話し方ができる先生とそうではない先生がいて、そうではない先生の時にチャットやミュートなどのいたずらなどが多いと感じた⇒リモート授業のやり方(先生側)リモート授業の受け方(生徒)両方の慣れと意識の向上が必要と感じた。

・自宅学習期間に、全く習っていない範囲の課題丸投げがたまにある。春の休校時にできなかった子も多くいたらしいが、改善なく同じ方法での課題が出た

・休校に対応するための受け皿が、企業側も学校側も、私的機関も追いついていない(取手市 保護者)

初めてのオンライン授業という事で、どの授業をどうやればオンラインでも実現可能かという事は現場で混乱している様子でした。(図工はどうする?など)

茨城県だけでは難しいかもしれませんが、そもそもの学習の目的を定めるべきかと思いました。(オンラインの目的を学力アップとするならばテストやレポートが向いている?図工など芸術に親しむことが目的ならば動画でも良いと思う)(取手市 保護者)

まず、東京都や名古屋を始め、茨城よりも人口が密集している地域でも、小中学校は通常通り開かれ、パンデミックを起こしていなかったこともあり、今回の県内全てオンライン化は、過剰な対応だったと思います。

子どもたちの身体面では、長時間のタブレット利用で斜視が進行することが危惧されます。
家に閉じこもってばかりでは、食事運動睡眠という免疫力を高める基本が崩れ、体力低下も心配だった。
また、学校は勉強以外にも先生や友達とのコミュニケーションの場で、幼少期に必要なタイミングの育ちの場が奪われてしまったように感じた。タブレットなのは、ミュートなど先生の一方的な授業で、コミュニケーションがあまり出来なかった。
子どもの育ちを守りながら、大人がオンライン化以外で適切な感染症対策ができるようにしていきたい。また夫婦共働きやシングル家庭、祖父母が同居していないと、子どもが一人でオンライン授業を受けることとなり、孤立・孤食、大人も仕事ができないなど悪循環（取手市 保護者）

取手市在住で、守谷で夫婦そろってサロン経営をしているが、守谷氏は全生徒例外なく自宅でオンライン授業となり、見守りの必要があるため、サロンのお客様が予約の取り消し・変更などされて、経営が大変だった。
また、自分自身も低学年の子どもをオンラインでなく、朝から送迎したりする中、家庭運営が厳しかった。ストレスが子どもも大人も爆発しそうだった。（取手市 保護者）

低学年は通常通り登校させてほしかった。オンライン授業中、仕事でほとんどついてみてあげることが出来なかったから、ほとんど勉強できていなかったと感じた。
子どもも自分自身もストレスがものすごかった。
生活の場である家庭で、学校のように長時間朝から午後まで集中することは出来ず、オンラインの授業ではだらけて勉強できない。（取手市 保護者）

困りごと

- ・オンライン授業といっても、先生によって内容・質が大きく違う。大体の先生は、初めてのことでとても段取りが悪い
 - ・低学年においては、親が見ていないといけない⇔親が仕事できない。親がお金を稼ぐために子どもたちを学校に預けているのに、本末転倒です。
 - ・オンライン授業では、子どもたちの様子が伝わりにくいので、わからないこと、理解できていない内容もそのまま流れてしまう。身になっていない。
 - ・タブレットの小さい画面を一日中見ていることで、確実に目が悪くなっている、姿勢もよくない
- ☆子どもたちがいくらオンライン授業で感染症予防対策を行っていても、大人たちが毎日満員電車出勤しては、何の意味もない。（取手市 保護者）

児童生徒及び教職員の陽性者数【令和4年1月1日から2月18日】

	児童	1日平均	生徒	1日平均	教職員	1日平均	小計	1日平均
1/1～8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1/9～15	2	0.3	2	0.3	1	0.1	5	0.7
1/16～22	18	2.6	8	1.1	0	0.0	26	3.7
1/23～29	64	9.1	27	3.9	7	1.0	98	14.0
1/30～2/5	41	5.9	36	5.1	17	2.4	94	13.4
2/6～12	29	4.1	25	3.6	9	1.3	63	9.0
2/13～18	20	2.9	18	2.6	3	0.4	41	5.9
合計	174		116		37		327	

学級閉鎖等の対応数【令和4年1月1日から2月18日】

	対応校	学級閉鎖	学年閉鎖	臨時休業
小学校	8校	15(42日間)	3(7日間)	2(11日間)
中学校	6校	21(64日間)	2(6日間)	1(2日間)

※小学校における令和4年1月31日から2月18日までの臨時休業（リモート授業）を除く

※小学校における令和4年1月31日から2月18日までの臨時休業（リモート授業）を除く各対応における閉鎖日数は、別紙参照